

平成17年度 横浜国立大学経済学部保護者富丘会(教育後援会)事業報告

平成18(2006)年4月5日

1. 保護者富丘会総会の開催

平成17年4月5日(火)午後2時より、経済学部講義棟101教室にて、経済学部保護者富丘会の総会を開催しました。新入生の保護者を中心に約30名の保護者が出席し、前年度の事業報告、新役員の選出を行いました。当日は、全学の入学式が行われた文化体育館から常盤台キャンパスまで新入生の保護者をお連れするため、バスを2台チャーターしましたが、マイクによるアナウンスができなかったことと、入学式終了から1時間後の出発となったため、期待された効果が出ませんでした。とはいえ、総会後の経済学部説明会では、保護者の方々から具体的な質問が活発に寄せられ、有意義でした。

2. 留学支援金

本学協定校への派遣留学生に選ばれた学生で、奨学金を得られなかった学生(ただし保護者が本会の会員である者)に対して留学支援金を支給しました。本年度は、パリ第12大学に留学するY君と、オーストラリア国立大学に留学するM君に、それぞれ10万円を支給しました。

3. 就職支援活動

4月15日に開催された「米州開発銀行就職セミナー」を共催し、7月15日に開催された元国連難民高等弁務官事務所人事研修部長:村上清氏によるワークショップ「国際舞台でのキャリアパス」を援助しました。また、12月12日には、全学のキャンパスボランティア・キャリアサポート制度の創設と連動する形で、「就職内定者による就職セミナー」を5名のパネルディスカッション形式で行いました。宣伝が遅れたこともあって出席はいまひとつでしたが、面接時の服装、グループディスカッションの成功法など、興味深い話題が提供され、質疑応答も活発でした。

4. 卒業祝賀会開催援助金の支出

平成18年3月24日(金)14時より、ロイヤルパークホテル70階で開催された学生主催の卒業祝賀会に対し、援助費15万円を支出しました。当日は昨年を上回る、約170名の卒業生が出席し、会場はあふれんばかりでした。

5. 名称変更とそれに伴う規約の改正

平成17年8月6日に行われた保護者富丘会理事会において、旧高商系大学のほとんどが「後援会」の名称を用いていること、「保護者会」の名称は大学になじまないとの意見が保護者、教員双方にあることから名称を「後援会」に変更することが了承されました。ただ、事実上後援会として機能している富丘会や経済学会と区別するため、「教育後援会」としたい、との提起が経済学部からあり、最終的にその方向で規約改正の準備を進めました。なお、名称とともに、事務所の所在地も実態に合わせて、財団法人富丘会事務局から経済学部に変更しました。